

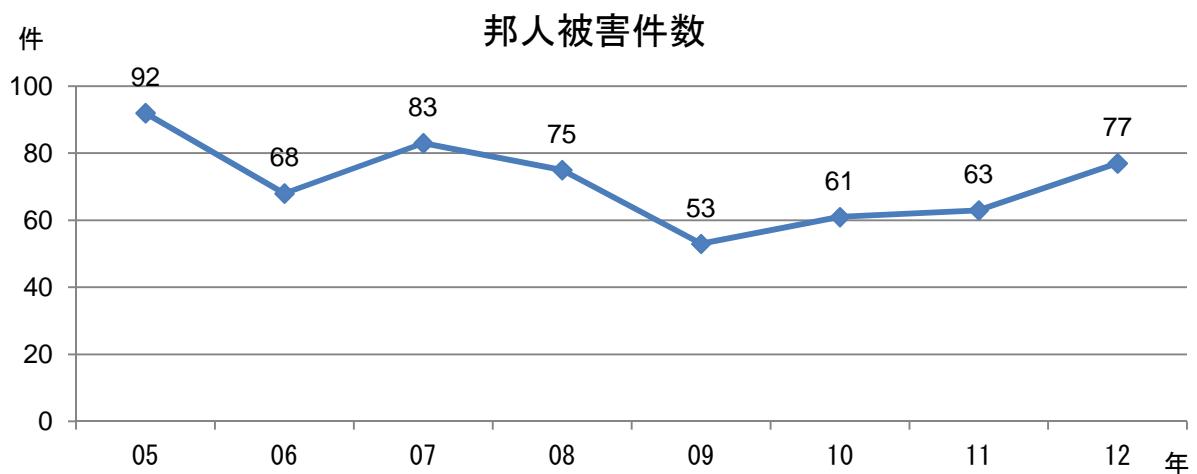
在メキシコ日本国大使館
2013年2月

2012年邦人被害概況

1 邦人被害の特徴

(1) 全体的特徴

- ・ 一昨年と比較すると、被害件数が増加(+14件)し、総件数77件であった。2009年、新型インフルエンザの影響等により被害件数が減少した後、年々増加傾向にある。
- ・ 地域別では、メキシコ市での被害は+5件と増加した。地方における被害は、46件と前年比+9件で、発生州は14州(前年比-4)であった。発生州は減少したもののが引き続き被害の地方拡散化傾向は継続している。
- ・ 被害の種類別では、窃盗(空き巣、車上狙い、置引き、すり、ひったくり)被害が57件と最多で、被害全体の74%を占めた。
特に窃盗(車上狙い)の被害は21件と被害全体の27%を占め前年比9件増加した。
- ・ 強盗致傷2件が発生した。一般的強盗事件は9件と前年比減少(-8件)した。凶悪事件を合計すると11件で、被害全体の14%を占めている。前年に比べ凶悪犯罪は減少したが、全体の被害件数は増加した。



(2) 地域別特徴・傾向

ア メキシコ市

- ・ メキシコ市の被害は31件と前年比5件増加した。なお、2012年にメキシコ市検察庁に届けられたメキシコ市全体の犯罪被害通報件数は、197,596

件で前年比 5, 802 件減少 (−2.9%) した。殺人 779 件 (前年と同数), 誘拐 65 件 (前年比 +10 件, +18%), ATM や銀行利用後の強窃盗 962 件 (前年比 −419 件, −30%), タクシーの乗客に対する強窃盗 640 件 (前年比 −38%) とメキシコ市で特徴的であった ATM や銀行利用後の強窃盗事件は大幅に減少したが全体の犯罪被害通報は微減であった。邦人に対する強盗等の凶悪事件は 8 件とメキシコ全国の凶悪事件 11 件のうち 73% を占めた。

- ・ 邦人被害の発生場所は、ミゲル・イダルゴ区ポランコ地区が 5 件、ポランコ地区以外のミゲル・イダルゴ区 2 件、ベニート・フアレス区 4 件、クアウテモック区 3 件、コヨアカン区 2, イ斯塔パラパ区 1 件、アルバロ・オブレゴン区 1 件、グスタボ・アドルフォ・マデロ区 1 件、ベヌスティアノ・カラソサ区 1 件、その他メトロ・バス内 4 件、空港内 4 件、メトロ内 2 件、近郊バス 1 件が発生しており、邦人の主な活動区域で被害が発生している。
- ・ 被害の種類では、窃盗 (置引き, ひったくり), 強盗の被害が目立っている。
- ・ 9 月には、信号待ち・渋滞停車中の車両に対するけん銃を使用した強盗が 2 件発生した。

イ その他の地域

- ・ メキシコ市以外で発生があったのは、グアナファト州で 15 件、ケレタロ州で 5 件、ハリスコ州で 5 件、キンタナ・ロー州で 5 件、ヌエボ・レオン州で 4 件、バハ・カルフォルニア州で 3 件、メキシコ州で 2 件、以下バハ・カルフォルニア州スル、ゲレロ州、サカテカス州、アグアスカリエンテス州、プエブラ州、モレーロ州、オアハカ州でそれぞれ 1 件ずつ発生した。グアナファト州では前年比 +10 件と大幅に被害が増加し、ほとんどの被害が窃盗 (車上狙い) であった。
- ・ グアナファト州においては、窃盗 (車上狙い) 12 件、窃盗 (空き巣) 1 件、窃盗 (ひったくり) 1 件及び窃盗 (客室狙い) 1 件の被害が発生した。
- ・ ケレタロ州においては、強盗致傷 (銀行へ行く途中に強盗に遭い大怪我を負った事件。) 1 件及び窃盗 (車上狙い) 4 件の被害が発生した。
- ・ ハリスコ州においては、窃盗 (車上狙い) 2 件、窃盗 (置引き) 2 件及び窃盗 (空き巣) 1 件の被害が発生した。
- ・ キンタナ・ロー州においては、窃盗 (置引き) 3 件、窃盗 (空き巣) 1 件及び窃盗 (客室狙い) 1 件の被害が発生した。
- ・ ヌエボ・レオン州においては、強盗が 1 件、窃盗 (空き巣) 1 件、窃盗 (車上狙い) 1 件及び窃盗 (置引き) 1 件の被害が発生した。
- ・ バハ・カルフォルニア州においては、窃盗 (車上狙い) 1 件、窃盗 (ひったくり) 1 件及び窃盗 (その他) 1 件の被害が発生した。
- ・ メキシコ州においては、窃盗 (車上狙い) 1 件及び窃盗 (空き巣) 1 件の被害が発生した。

2 邦人被害件数

(1) 被害届け出件数

77件（前年比+14）

本集計は、当館に届け出があった件数であり、被害の届け出が行われていない潜在的被害も多数存在するものと思われ、実際の被害件数はこれより多いものと考えられる。

(2) 既遂・未遂別届け出件数

既遂 76件（同 +13）

未遂 1件（同 +1）

(3) 犯罪種類

強盗致死傷 2件（同 -2）

強盗 9件（同 -6）※うち、凶器使用8件

公然わいせつ 1件（同 +1）

窃盗 65件（同 +22）

※うち、車上狙い 21件(+9)

置引き 14件(+7)

空き巣等侵入窃盗 10件(+3)

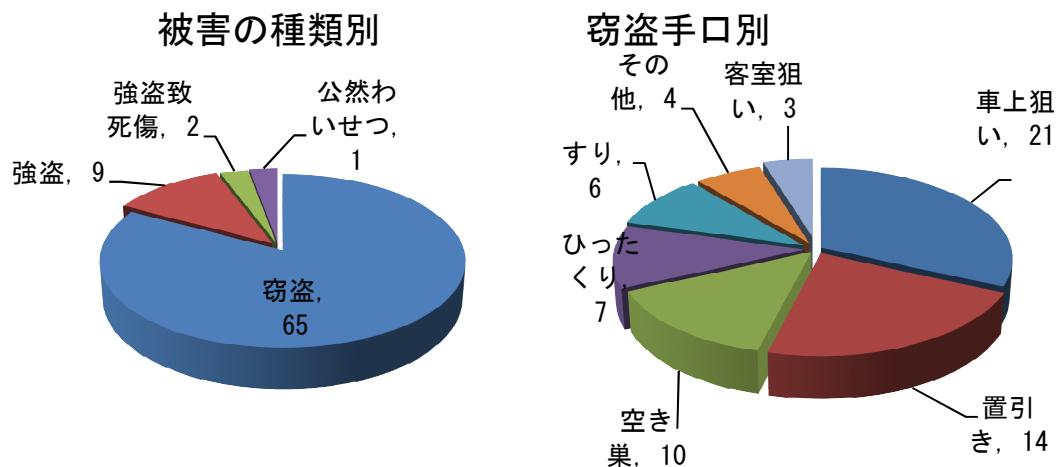
ひったくり 7件(+2)

すり 6件(-1)

その他 4件(+2)

客室狙い 3件(±0)

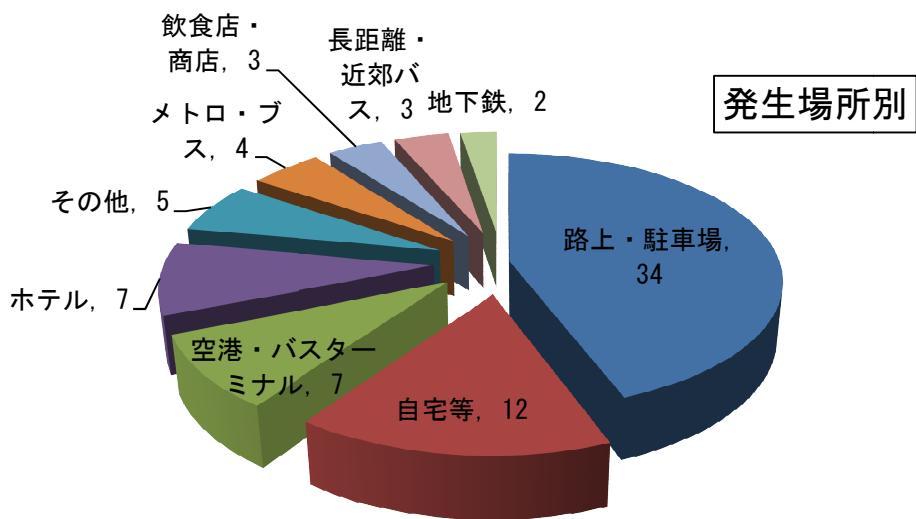
強盗等の被害はけん銃等の凶器を使用する場合が多く一つ間違えば大怪我を負う可能性もあった。また、iPhone等のスマートフォンを狙ったひったくりが、昨年に引き続き多発した。



(4) 発生場所別

路上・駐車場等屋外	34件
自宅等	12件
空港・バスターミナル	7件
ホテル	7件
その他	5件
メトロ・バス	4件
飲食店・商店	3件
長距離・近郊バス	3件
地下鉄	2件

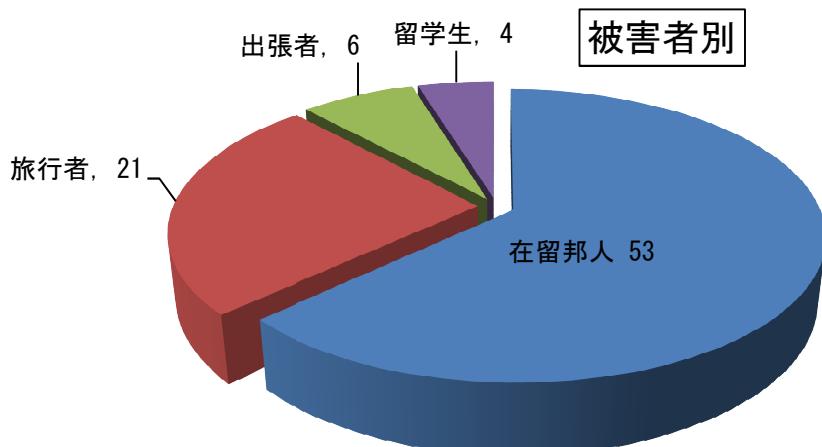
強盗や車上狙いの被害の多くが路上・駐車場で発生した。また、置引きの被害の多くは空港やホテルで発生した。比較的安全と考えられているメトロ・バスでは混雑時を利用したスリが4件発生した。



(5) 被害者別

在留邦人	53 件	(+ 17)
旅行者	21 件	(+ 3)
出張者	6 件	(- 5)
留学生	4 件	(- 2)

車上狙いの被害増加に伴い在留邦人の被害が大幅に増加した。



被害の詳細については、別添「邦人被害の犯罪発生状況」一覧を参照。

以上